

先取喚呼とその教育手法

失念(し忘れ)は、時には重大事故につながる可能性があり、その防止は安全確保のために重要です。失念を防止する手法として、鉄道総研では先取喚呼を提案しています。また、その先取喚呼の実施に対する動機づけを向上させることのできる教育手法を開発し、その手法を実施できる教育ソフトを作成しました。

特 徴

- 先取喚呼は、し忘れてはいけないことを、あらかじめ(先取って)、実施しているところをイメージして喚呼したり、反復して喚呼したりすることで、失念を防ぐというものです。
- 先取喚呼には、イメージング型と反復型の2種類があり、本教育手法では、2つの先取喚呼の失念防止効果の体感学習と、メカニズム学習により動機づけを向上させます。

用 途

- 先取喚呼は職種を問わず、失念防止のために使用できます。
- 教育ソフトは安全研修での教育プログラムにご利用いただけます。

活用例

- 鉄道事業者において、失念による事故の防止手法として、先取喚呼が活用されています。
- 鉄道総研が請け負う安全研修などで、本教育ソフトが活用されています。

特許第7062574号、喚呼のつり込まれエラー学習装置及び方法

特許第7330647号、先取喚呼による記憶エラー防止効果学習装置及び方法

先取喚呼(イメージング型)

区所などで、
イメージング型喚呼

A駅の先に臨時の
徐行区間あり。
出発時は、フル
ノッチを入れない。



先取喚呼(反復型)

運転中に、
反復型喚呼

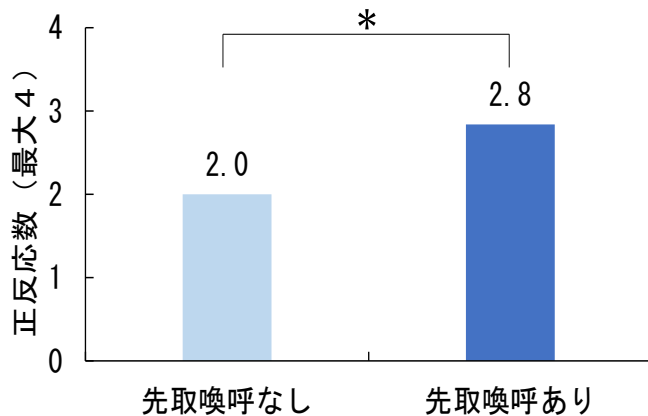
ボソッ

徐行、45



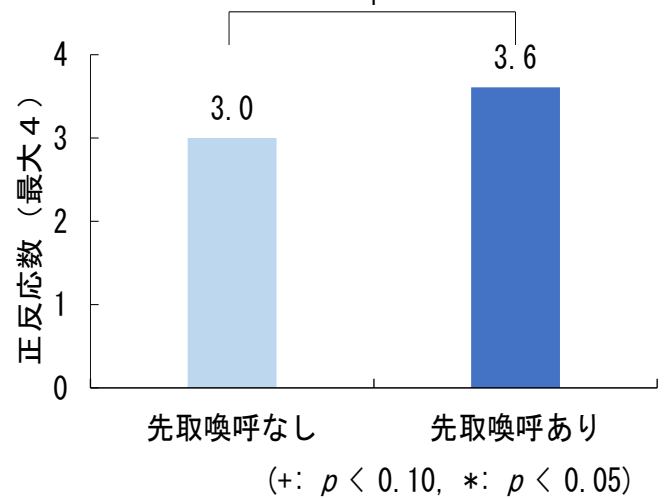
イメージ型喚呼の失念防止効果

(被験者33名)

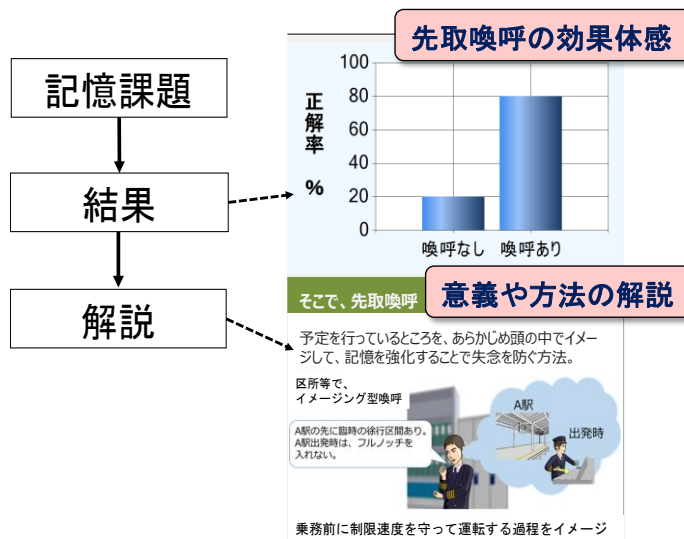


反復型喚呼の失念防止効果

(被験者36名)



教育ソフトの概要



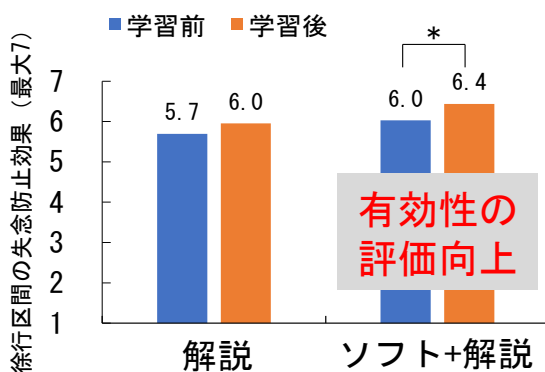
教育ソフトの活用イメージ



教育ソフトの効果

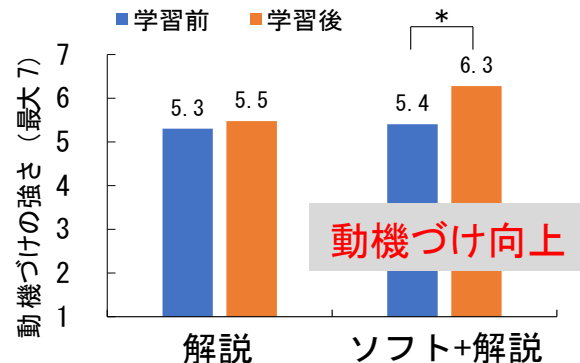
徐行区間失念防止に有効？

(1:有効でない ~ 7:有効)



先取喚呼を実施したい？

(1:使いたくない ~ 7:使いたい)

※反復型喚呼 被験者94名 (*: $p < .05$)